

貨殖列傳第六十九

老子曰く、至治の極は、鄰國相望み、雞狗の聲相聞え、民各々其食を甘んじ、其服を美とし、其俗を安んじ、其業を樂しみ、老死するに至るまで隣國相往來せずと各其處ニ安ンツテ他ニ求ムル所ナキ也。必ず此を用つて務めとなし、近世を輓き民の耳目を塗るは、則ち幾んど行はるゝ無けん今日老子ノ此道ヲ善シトナシテ近世ノ俗ヲ挽回セントスルハ人民ノ耳目ヲ塗リ塞グニ非ザレバ能ハザルコトニシテ到底行ハルコトニアラザルチ云フ。

太史公曰く、夫れ神農以前は、吾知らざるのみ。詩書に述ぶる所の虞夏以來の若きに至つては、耳目は聲色の好を極めんと欲し、口は芻豢スウケン 艸チ食フ者チ芻ト曰ヒ穀チ食フチ豢ト曰フ牛羊ノ類チサスの味を窮めんと欲し、身は逸樂に安んじて、心は勢能の榮に誇矜すキョウケン。俗の民を漸ましむるや久し。戸ごとに説くに眇論ミョウロンを以てすと雖も、終に化する能はじ。故に善者は之に因り、其次は之を利道リダウし、其次は之を教誨し、其次は之を整齊し、最も下なる者は之と争ふ。夫れ山西山西ノ地は材竹穀糶糶ハ山ノ中ノ紵、鹿玉石に饒ユタカけく、山東は魚鹽漆絲及聲色美女多く、江

南は楠クスク梓シササ 薑桂金錫連連ハ鉛ノ未ダ鍊ラザルモノ 丹沙犀瑋珠璣齒革を出し、龍門礪石クの北に
 は、馬牛羊旃シ 裘筋角多く、銅鐵は則ち千里にして往往、山より出で、棊置す棊石ヲ置クガ如ク
處々ニ有ル也。此れ其大較カ略大なり。皆中國人民の喜好する所、而シ 諸俗俗の被服飲食、生を奉
 じ死を送るの具也。故に農を待つて之を食ひ、虞山澤ノ材ヲ出スモノ之ヲ虞ト曰フ あつて之を出し、工あ
 つて之を成し、商あつて之を四方通ず。此れ寧ろ政教發徵徵求期會所ニ致ス あらんや。人
 各々其能に任じ、其力を竭し、以て欲する所を得。故に物賤しきは貴きを徵め、貴き
 は賤しきを徵め物價下落ノ極ハ騰貴スルニ至リ騰貴ノ極ハ又下落スルニ至ルヲ云フ、各々其業を勸め勸其事を樂しむこと、水の
 下ヒきに趨るが若く、日夜休む時無く、召さずして自ら來り、求めずして民之を出す。
 豈に道の符符也合ふ所にして自然の驗ならずや。周書に曰く、農出さハれば、則ち其食に
 乏ハしく、工出さハれば、則ち其事に乏ハしく、商出さハれば、則ち三寶食器絶融通し、虞
 出さハれば、則ち財材也乏也、財匱乏すれば山澤辟辟也闕けずと。此四者は、民の衣
 食する所の原源なり。原大なれば則ち饒けく、原小なれば則ち鮮し。上は則ち國を富ま

し、下は則ち家を富ます。貧富の道、之れ奪予する莫くして、巧者は餘りあり、拙者は足らず。故に太公、望營丘に封せらるゝや、地、ホヤロ海鹵鹹にして人民寡し。是に於て太公、其女功織を勸め、技巧を極め、魚鹽を通せしかば、則ち人物之に歸し、縑至至縑(案)ノ如ク連屬シテにして輻湊ルコトす。故に齊、天下に冠帶衣履し、海岱ノの間、袂を斂めて往いて齊朝す。其後、齊、中ごろ衰ふるや、管子之を修め、輕重也九府財幣ヲ掌ルを設く。則ち桓公以て霸たり、九たび諸侯を合はせ、一たび天下を匡也正す。而して管氏も亦諸侯ル三歸名あり、位、陪臣に在りて、列國の君よりも富む。是を以て齊、富彊にして威威宣王に至る。故に曰く、倉廩實ちて禮節を知り、衣食足つて榮辱を知ると。禮は有に生じて無に廢る。故に君子富めば好んで其德を行ひ、小人富めば以て其力を適む。淵深くして魚之に生じ、山深くして獸之に往き、人富んで仁義ヲに附く。富者勢を得れば益々彰はれ、勢を失へば則ち客之く所無く賓客皆去以て樂します。此夷狄ニ在リ益々甚し。諺に曰く、千金富の子は市に死せず戰死セランと。此れ空言に非ず。故に曰く、

天下熙熙和樂ノ貌として、皆利の爲めに來り、天下壤壤紛錯ノ貌として、皆利の爲めに往くと。夫れ千乘の王、萬家の侯、百室の君尙ほ貧を患ふるあり。而るを況んや匹夫編戶細民ヲ云の民をや。

昔は越王勾踐、會稽の上に困シムし、乃ち范蠡、計然范蠡ノ師也を用ふ。計然曰く、鬪ウツを知れば則ち豫備を修め、時に用ふれば則ち物を知る。二者形はるれば、則ち萬貨の情、得て觀る可きのみ。故に歲金星に在りては穰盛、水には毀れ、木には饑ゑ、火には旱す。

早には則ち舟を資し早魁ノ後ニハ必ズ大水アルベケレバ早魁ノ時ニハ豫メ舟ヲ蓄ヘテ以テ待ツナリ、水には則ち車を資するは、物の理也。六歲にして穰し、六歲にして旱し、十二歲にして一たび大饑す。夫れ糶糶(賣)ノ値也。

二十なれば米賤キナリ農を病ましめ、九十なれば米貴キ也末商を病ましむ。末病めば則ち財出でず、農病めば、則ち草辟ヒラ也荒蕪スルヲ云フ。上、八十に過ぎず、下、三十に減せざれば、

則ち農末俱に利あり。糶を平にし物を齊しうし關市乏しからざる四方ノ貨物は出入スル也、治國の道也。積蓄シテ蓄の理貯蓄は、物を完くするを務め、幣貨幣貨を息トむる無く、物を以て相貿易し、

腐敗せる貿易ニ堪ヘザル者は自之を食ふ。貨は留むる勿く、敢て直段貴きに居カく無し。其有徳本
 足を論ずれば、則ち貴賤物價ノ高低を知る。貴上極まれば則ち賤に反り、賤下極まれば則ち
 貴に反る。貴タカきは出すこと糞土の如く必ず賤下スル、賤ヤスきは取ること珠玉の如く必ず貴上
リ、財幣は其行はるゝこと流水の如からんを欲すと。之を修むること十年、國富み、厚
 く戰士に賂オカふ。士の矢石に赴くこと、渴して飲を得るが如し。遂に彊吳に報い、兵を中
 國に觀シし、稱して五霸と號す。范蠡既に會稽の耻を雪スぎ、乃ち喟然として歎じて曰く、
 計然の策中七ノ、越、其五を用ひて意を得たり。既に已に國に施す。吾之を家に用ひん
 と欲すと。乃ち扁舟舟小に乗じ、江湖湖五に浮び、名を變じ姓を易へ、齊に適いて鷗夷子
 皮となり、陶名地に之いて朱公となる。朱公以爲へらく、陶は天下の中にして、諸侯四
 通して貨物の交易する所たりと。乃ち産を治めて積居し、時と逐うて豫メ貨物ヲ備ヘテ時
機ヲ見テ之ヲ賣ル也
 人に責責せず。故に善く生を治むる者は、能く人を擇マんで時に任ず。十九年の中、三
 たび千金を致し、再び分散して貧交疏昆弟に與ふ。此れ所謂富めば好んで其徳を行ふ

者也。後年衰老して子孫に聽す。子孫、業を脩めて之を息殖し、遂に巨萬に至る。故に富を言ふ者、皆陶朱公を稱す。

子贛贛ハ既に仲尼に學び、退いて衛に仕へ、廢著ハツテ蓄積貯チ發スル也して財を曹魯の間に鬻ぐ。七

十子の徒中、賜子最も饒益なりとす。原憲は糟糠にだも厭かず、窮巷に匿る。子貢は駟

を結び騎を連ね、束帛の幣、以て諸侯に聘享せられ、至る所の國君、庭を分ちて之と

抗禮對等せざるは無し。夫れ孔子の名をして天下に布揚せしめしものは、子貢之を導導イ

先後佐補したれば也。此れ所謂勢を得て益々彰はるゝ者か。

白圭は周の人なり。魏の文侯の時に當り、李克は務めて地力を盡し農耕チ力、ムルナリ、而して白

圭は時變を觀るを樂しむ投機チ、ナス也。故に人棄つるは我取り、人取るは我予ふ。夫れ歲孰シユクす

れば、穀を取つて、其代之に絲漆を予へ、鹽ノ字出づれば、帛絮キヌワタを取つて、其代之

に食を與ふ。太陰、卯に在れば、穰なり。明歲は衰惡。午に至つて、旱す。明歲は美

なり。酉に至つて、穰なり。明歲は衰惡。子に至つて、大旱す。明歲は美なり、水あ

り。卵に至つて、積著率ね歳に倍す。錢を長せんと欲すれば、下穀安價ナを取り、石斗を長せんとすれば、上種上等ノ種種を取る。能く飲食を薄くし、嗜欲を忍び、衣服を飾し、事を用ふるに僮僕と苦樂を同くし、時チ觀之之に趨ること猛獸擊鳥擊鳥ハの發するが若し。故に曰く、吾が生産を治むるは、猶ほ伊尹呂尙の謀、孫吳孫子のの兵を用ひ、商鞅の法を行ふがときは是れ也。是の故に其智、與に權變するに足らず、勇、以て決斷するに足らず、仁、以て取予する能はず、彊、守る所有る能はざるは、吾が術を學ばんと欲すと雖も、終に之を告げずと。蓋し天下、生を治むるを言ふは白圭を祖とす。

白圭其れ試みる所あり。能く試みるに長する所あり。苟もするのみに非ず。

倚頓は監鹽鹽ハ鹽田也を用つて起り、邯鄲の郭縱は鐵冶鐵冶山を以て業を成し、王者と富を

埒トしうす。烏氏保は畜牧し、畜衆きに及んで之斥賣し、奇緡ソウの物を求めて、間に戎王

夷狄ノ王に獻遺す。戎王、其價を什倍して、之に畜を與ふ。畜、谷を用つて馬牛を量るに

至る畜谷ニ滿チ數ヲ以テ計ル能ヘ。至シテ一谷ニ量ルナリ。秦の始皇帝、保をして封君に比し、時を以て列臣と與に

朝請せしむ。而巴蜀の寡婦清は、其先、丹穴丹砂ノ出を得て其利を擅にすること數世、家亦カキ嘗カキ限りなし。清は寡婦なり。能く其業を守り、財を用ひ自ら衛つて人侵犯せられず。秦の皇帝以爲へらく、貞婦なりと。之を客とし、爲めに女懷清臺を築く。夫れ保は鄙人の牧長なり、清は窮郷の寡婦なり、而ニ禮、萬乘に抗對し、名、天下に顯はる。豈に富を以てするに非ずや。

漢興つて、海内、一となり、關梁を開き稅關ヲ開放、スルナリ、山澤の禁を弛ぶ。是を以て富商大賈、天下に周流し、交易の物、其の欲する所を通得せざる莫く、而して豪傑諸侯の彊族を京師に徙す。關中、汧雍ケより以東、河華に至るまで、膏壤沃野千里、虞夏時の貢より以て上田となす。而して公劉、邠ヒンに適ユき、太王王季、岐に在り、文王、豊オウを作し、武王、鎬に治す。故に其民猶は先王之遺風あり、稼穡を好み、五穀を殖植え、地重土著ニシテ、地ヲ重ンズく、邪を爲すを重かる。秦の文孝繆ボク公文公孝、雍隙に居るに及んで、隴蜀の貨物多にして賈モ多し。獻孝公獻公孝、櫟邑櫟に徙り、櫟邑の北、戎翟テを卻け、東、三晋に通ず。

亦大賈多し。武昭武王昭王、咸陽に治す。因つて以て漢、長安に都す。諸陵あり。四方輻輳し並び至つて會す。地小に人衆し。故に其民益々玩巧器用にして末賈を事とす。南は則ち巴蜀なり。巴蜀も亦沃野、地、染草扈ノ名、薑、丹沙、石、銅、鐵、竹木の器饒オホし。南、滇滇楚楚を御す。楚の僮僮奴婢婢あり。西、邛笮邛笮に近し。笮の馬旄牛あり。然して四塞塞、棧道千里、通せざる所無し。唯だ褻斜褻斜ノ其口を箱轂ツカメルコトし、多き所を以て鮮鮮き所に易ふ。天水隴西北地上郡は關中と俗を同じうす。然れども西、羌中の利あり、北、戎翟の畜あり、畜牧は天下の饒となす。然れども地亦窮險なり。唯だ京師、其道を要す。故に關中の地は天下に於ける三分の一にして、人衆は什の三に過ぎず。然れども其富を量るに、什にして其六に居る。昔、唐人、河東に都し、殷人、河内に都し、周人、河南に都す。夫れ三河は天下の中に在りて鼎足の若く、王者の更カハル々居る所たり。國を建つる各々數百千歳、土地小狹にして、民人衆し。都國は諸侯の聚會する所、故に其俗纖儉、事に習ふ。楊平陽陳二邑ノ名は、西、秦翟秦ト白翟に賈し、北、種代に賈す。種代は、石邑の北にあり。地、胡

に邊し、數々寇を被ふる。人民矜ホコつて懷ホシ伎シ也也。害害し、氣を好み、任俠にして姦を爲し、
 農商を事とせず。然れども北夷に迫近して、師旅亟シ々往く。中國委輸して、時に奇美
不思議あり。其民羯ケツイ羗性羊ノ如ク捷捷ナ利益ナ。あり。其民羯羗性羊ノ如ク捷ナ利益
 悍を患ふ。而して趙武靈王益々之を厲ハゲます。其謠俗、猶ほ趙の風あり。故に楊平陽陳、
 其間に椽サ也也縁縁り、欲する所を得。溫軹ニツ地名地名は西、上黨に買し、北、趙、中山に買す。中
 山は地薄く人衆し、猶ほ沙丘、紂の淫地の餘民あり。民俗懷急懷急、機利機利巧黠巧黠ヲ以テ利を
 仰いで食す。丈夫相聚まつて遊戲し、悲歌愴慨し、起てば則ち相隨つて椎剽ツキ人ヲ椎殺シ
スルし、休働カザ也也。すれば則ち冢を掘つて竄ミ巧姦治治ハをヲ作す。美物多し。倡優を爲
 すの女子は、則ち鳴瑟を鼓し屣シ履履小を踏み、貴富に游媚し、後宮に入り、諸侯に徧ねし。
 然れども邯鄲も亦鄆河の間の一都會なり。北、燕涿に通じ、南に鄭衛あり。鄭衛の俗
 は趙と相類す。然れども梁魯に近し。微しく重くして節を矜ケふ。濮上の邑秦ニ破野王
地名に徙る。野王は氣を好んで任俠、衛の風也。夫れ燕も亦勃碣勃碣碣石碣石の間の一都會也。

南、齊趙に通じ、東北、胡に邊し、上谷より遼東に至る、地、踔遠トウケン、人民希にして、數々寇を被ふる。大に趙代の俗と相類すれども、民、靡悍ヘイケン、靡ヘイ、靡ヘイにして慮少し。

魚鹽棗栗の饒あり、北、烏桓、夫餘に鄰し、東、穢貉、朝鮮、眞番の利を縮ぬ。

洛陽は東、齊魯に買し、南、梁楚に買す。故に泰山の陽は則ち魯、其陰は則ち齊なり。

齊は山海を帶び、膏壤コウニョウ千里、桑麻に宜しく、人民多く、文綵モンサイの布帛魚鹽あり。臨

菑も亦海岱の間の一都會なり。其俗寛緩闊達にして智足り、議論を好む。地重くして

動搖を難ツブかり、衆鬪に怯ツクナく、持刺チシ一人ヒトに勇む。故に人を劫かす者多し。大國の風あり、其中に五民ゴミンを具ふ。而して鄒魯は洙泗シュに濱し、猶ほ周公の遺風あり。俗、

儒を好んで禮を備ふ。故に其民齷齪ソウソク、陋局ロウキウとして、頗る桑麻の業あれども、林澤の饒無

く、地小に人衆く、儉嗇ケンソクにして、罪を畏れ邪に遠ざかる。衰ふるに及んで、買

を好み利に趨ること、周人よりも甚だし。夫れ鴻溝より以東、芒碭マウタウ以北は、巨野に屬

す。此れ梁宋也。陶睢陽トウスイヤウも亦一都會也。昔、堯、游ユウ宮室クウシツを成陽に作り、舜、雷澤に

す。此れ梁宋也。陶睢陽も亦一都會也。昔、堯、游宮室を成陽に作り、舜、雷澤に

漁し、湯、毫トウに止まる。其俗猶は先王の遺風あり、重厚にして君子多く、稼穡を好む。山川の饒無しと雖も、能く衣食を悪しうし、其蓄藏を致す。越楚には則ち三俗あり。夫れ淮北より沛、陳、汝南、南郡までは、此れ西楚なり。其俗剽輕にして、發怒し易く、地薄く、積聚寡し。江陵は故の郢の都、西、巫巴巫郡に通じ、東に雲夢ホウの饒あり。陳は楚夏の交に在り、魚鹽の貨を通ず。其民、賈多し。徐、僮、取慮縣ノ三は、則ち清刻清廉にして、已諾然諾ヲ重ニ矜ホコる。彭城以東、東海吳廣陵までは、此れ東楚なり。其俗、徐、僮縣ニ、胸胸ノ二縣以北の俗は則ち齊に、浙江俗の南ノは則ち越に類す。夫れ吳、闔廬、春申、王濞の三人より、天下の喜游の子弟を招致す。東に海鹽の饒、章山の銅、三江五湖の利あり。亦江東の一都會也。衡山、九江、江南、豫章、長沙は是れ南楚也。其俗、大に西楚に類す。郢の後、壽春に徙る。亦一都會也。而して合肥縣は、南北の潮を受け船輻、皮革鮑木、輪會す。閩中閩于越と俗を雜ふ。故に南楚は好辭巧説にして、信少し。江南は卑溼シツにして、丈夫早く夭死す。竹木多し。豫章は黄金を出し、長沙は

連鐵ノ未ダ鐵錫ラザルモノを出す。然れども望望僅にして、物の有る所、之を取るに以て費を更ツクテ也ふに足らず。九疑山蒼梧以南、儋耳儋に至るまでは、江南と大に俗を同じうして、楊川ヤクワツ越越席多し。番禺フも亦其一都會也。珠璣珠、犀犀、瑇瑁瑇、果果實布布葛葛の湊湊聚聚なり。

潁川南陽は夏人の居也。夏人は政マフコト、忠朴を尙ぶ、猶は先王之遺風あり。潁川は敦愿敦

厚厚なり。秦の末世、不軌の民を南陽に遷す。南陽は西、武關武、鄖關鄖に通じ、東南、漢

江江淮淮水を受く。宛も亦一都會なり。俗雜はつて、事を好む。業、賈多し。其れ任俠、潁

川に交通す。故に今に至るまで之を夏人夏と謂ふ。夫れ天下の物鮮鮮き所あり多多き所あり。

人民の謠俗風、山東は海鹽を食ひ、山西は鹽鹵山を食ふ。嶺南沙北は固より往往鹽を

出す。大體此の如し。之を總ぶるに楚越の地は、地廣く人希に、稻を飯にし魚を羹に

し、或は火耕枯葉ヲ燒イタリ耕して水耨水ヲ灌イダリ耨し、果果實實木木實實ト曰フ贏螺螺蛤蛤、賈賈を

待たずして足り、地勢、食饒多く、饑饉の患無し。故を以て皆皆欲欲ナナルルコトにして生を偷ヌみ、

積聚無くして貧多し。是の故に江淮以南は凍餓の人無く、亦千金の家無し。沂泗水以北

は五穀桑麻六畜に宜しく、地小に人衆く、數々水旱の害を被ふる。民、畜藏を好む。故に秦夏梁魯は農を好んで民を重んず。三河宛陳も亦然り。加ふるに商賈を以てす。齊趙は智巧を設け、機利を仰ぎ、燕代は田畜して蠶を事とす。

此に由つて之を觀れば、賢人の深く廊廟に謀り、朝廷に論議し、信を守り節に死し、隱居巖穴の士の、名高を設爲するものは、安くにか歸する。富厚に歸する也。是を以て廉吏も久久更に富み、廉賈も富に歸す。富は人の情性の學ばずして俱に欲する所のものなり。故に壯士、軍に在り、城を攻め先登し、陣を陥れ敵を却け、將を斬り旗を擧り、前んで矢石を蒙ふり、湯火の難を避けざるものは、重賞の爲めに使はる、也。

其の間巷に在るの少年、攻剽椎埋椎埋ハ人ヲ推殺シテ埋ムル也して、人を劫かし姦を作し、冢を掘り幣貨を鑄、任俠并兼し、交友命ヲ借シテに仇を報じ、幽隱に篡逐篡ハ無理ニ奪取スル也して、法禁を避けず、死地に走オモくこと驚オするが如きは、其の實皆財用の爲めにする耳。夫れ趙女鄭姫、形容を設け、鳴琴を撰モち、長袂ベを揄ヒき、利屣舞蹈ヲ履フを躡み、目挑み心招き、出づる

に千里を遠しとせず、老少を擇ばざるものは、富厚に奔る也。游閑の公子、冠劍を飾り、車騎を連ぬるも、亦富貴の爲めに容る也。カキテツク弋射漁獵、晨夜を犯し、霜雪を冒し、阨谷に馳せ、猛獸の害を避けざるは、味を得るが爲め也。博戲馳逐し、雞を闘はし狗を走らし、色を作して相矜り、必ら勝を争ふものは、失負を重んずる也。醫方諸々の技術に食むの人、神を焦し能を極むるは、精シ報酬ルを重んずるが爲め也。吏士、文を舞はし法を弄し、章を刻み書を僞はり、刀鋸の誅を避けざるものは、賂遺に没溺シする也。農工商賈の畜長貯蓄ヲ種スコトするは、固より富を求め貨を益す也。此れ能を盡して索むるを知る有る耳、終に力を餘して財を譲らず。利ヲ逐フニ全カチ用ヒ財ニ臨ンテ讓ルコトナシ 諺に曰く、百里ノ遠キニハ樵を販がず、千里、糴米ヲキ買入を販がず、之に居ること一歳なれば、之に種うるに穀を以てし、十歳なれば、之に樹うるに木を以てし、百歳なれば、之を來すに徳を以てすと。徳とは人物の謂ひ也。今、秩祿の奉、爵邑の入無くして、樂しみ之と比する者あり。命けて素封と曰ふ。封は租税を食む。歳ごとに率ね戸に二百、千戸の君には、則ち二

十萬、朝覲聘享參勤聘問 饗應ノ費其中より出づ。庶民農工商賈、率ね亦歲ごとに萬に息利二千、戶
 百萬の家には、則ち二十萬、而して更徭租賦其中より出で、衣食の欲は、好美する所
 を恣にす。故に曰く、陸地の牧馬二百蹄五十匹也、牛蹄角千百六十頭、千足の羊二百五十頭、澤中千
 足の麋二百五十頭、水居千石の魚得ル、陂澤、山居千章千株の材、安邑千樹の棗、燕秦千樹の栗、
 蜀漢江陵千樹の橘、淮北常山已南河濟の間千樹の萩木名、陳夏千畝の漆、齊魯千畝の桑麻、
 渭川千畝の竹、及び名國萬家の城、帶郭千畝、畝鍾の田畝ニ一鍾即六斛 四斗取レル田也、若しくは千畝
 の扈扈子茜茜草、千畦の薑薑韭韭、此れ其人皆千戶侯と等しと。然れども是れマ富給トナ
 の資也。市井を窺はず、異邑に行かず、坐して收を待つ。身、處士の義あつて給を取
 る。若し家貧しく親老い、妻子軟弱にして、歲時以て祭祀する無く、飲食を進進醜一者し
一所ニ合て、被服以て自ら通するに足らざる人中ニ出ラレに至るも、此の如きをしも慙耻
食スル也せざるは、則ち比する所無し。是を以て財無きは力ナを作し、少しく有るは智ナを闡はし、
 既に饒かなるは時を争ふ。此れ其の大經體大也。今、生を治むるに身を危ふくするを待

たずして給を取るは、則ち賢人焉コトを勉む。是の故に本富農種シテを上となし、末富以テ者富之之に次ぎ、姦富姦巧ニシ最も下なり。巖處奇士の行無く、而も長く貧賤にして、好んで仁義を語るは、亦羞づるに足る也。

凡そ編戸の民、富相什倍十すれば則ち之に卑下し、伯倍百すれば則ち之を畏憚し、千倍千す

れば則ち役せられ、萬倍萬すれば則ち僕とせらる、物の理也。夫れ貧を用つて富を求む

るは、農は工に如かず、工は商に如かず、繡文を刺ススル縫ヒトリは市門に倚賣ス賣るに如か

ずとは、此れ末業の、貧者の資なるを言ふ也。通邑大都、酤サケウること一歳に千釀コイ、醢コイ

千コウ瓶也醬大千コイ甔大、牛羊彘を屠ること千皮、穀を販コメウぎコメウ耀コメウること千鍾鍾ハ六斛四斗、薪菜千車、

船長さ千丈、木千章、竹竿萬个、其輶車小百乘、牛車千兩兩ハ、輶也、木器の聚ウシスるもの千枚、

銅器千鈞、素木素器鐵器若しくは厄厄子茜茜草共千石、馬蹄蹄ハ躐躐ハ千二百疋、牛千足、羊彘

千雙、僮婢婢の手指千、筋角丹沙千斤、其帛絮細布千鈞、文采千匹、楊布布ノ皮革千石、

漆千斗、麩葛麩カウ鹽鼓鼓ハ納豆千カウ合、鮎魚魚魚刀千斤、鯢魚魚魚千石、鮑千鈞、棗栗千石の



もの之を三にし即チ三千、石アル也、狐狐、貂貂ハの裘千皮、羔羊の裘千石、旃席千具、佗他の果菜千鍾、子貨利子附キの金錢千貫、市人ノ賔會市人ノを節す物ノ貴賤ヲ節スるに、貪買は之を三にし、廉買は之を五にす。此れ亦千乗の家に比す。其大率也。佗の雜業利益什の二に中らざるは、則ち吾が財に非ざる也。他人ノ財貨ヲ勤カスヲ云フ。請ふホボ略當世千里の中の賢人の富む所以の者を道イつて、後世をして以て觀擇するを得しめん。

蜀の卓氏の先は趙の人也。鐵冶を用つて富む。秦、趙を破つて、卓氏を遷す。卓氏、虜略せられ、獨夫妻、輦を推し行いて遷處に詣る。諸々遷虜の少しく餘財あるは、争うて吏に與へ、近處を求めてカバ葭萌地名に處る。唯だ卓氏のみは曰く、此地は狹薄なり。吾聞く汝山の下に沃野あり。下、蹲シ鴟子あつて、死に至るまで餓るす、民、市に工巧にして易買エキコすと。乃ち遠く遷るを求む。之を臨邛に致す。大に喜び、鐵山に即ツいて鼓鑄す。籌策を運らし、滇蜀の民を傾く。富、僮千人に至り、田池射獵の樂み、人君に擬す。程繁は山東の遷虜也。亦冶鑄して、椎髻の民蠻に買す。富、卓氏に埒トし。俱に臨邛に居る。

宛の孔氏の先は、梁の人也。鐵冶を用つて業となす。秦、魏を伐つて、孔氏を南陽に遷す。大に鼓鑄し、陂池を規す。車騎を連ねて諸侯に遊び、因つて商賈の利を通ず。

游閑公子

優游閑暇ナルヲ稱スル也

の賜與の名あり。然れども其ユイ羸得利過當、織モウク畜者に愈マり、家、富

を致すこと數千金。故に南陽の行賈、盡く孔氏の雍容追ラザルナリに法る。魯人の俗、儉

嗇にして、曹の邴ヘイ氏尤も甚し。鐵冶を以て起り、富、巨萬に至る。然れども家、父

兄子孫より約あり、俛アせば拾イふ有れ、仰オがば取イる有れと。賈セイトク貨金ヲ貸シテ參ク人行賈、郡國に

徧ユねし。鄒魯、其故を以て、文學を去つて利に趨る者多し。此レ全ク曹の邴ユ氏の以也。

齊の俗、奴虜を賤しむ。而して刁テウ間ガ獨り之を愛貴す。桀カク黠コキの奴は人の患ふる所

也。唯だ刁間之收め取つて、之をして漁鹽商賈の利を逐はしむ。或は車騎を連ねて、

守相郡ノ大守宰相に交はる。然れども愈々益々之に任じて、終に其奴虜力を得、富を起すこ

と數千萬。故に曰く、寧ろ爵たらんか、母刁テウたらんか寧ろ爵祿ヲ受クル身トナランカト。其

の能く豪奴をして自ら饒ユタカにして其の力を盡さしむるを言ふなり。周人既に織織畜儉にし

て、師史名姓尤も甚し。穀車意、車を轉ずること百を以て數へ、郡國に買して、至らざる所無し。洛陽の街は齊秦楚趙の中に居在す。貧人、富家に事ふるを學び、相矜ホッるに久買を以てす。其者數々邑を過ぐれども門に入らず。師史此等に設任委す。故に師史能く七千萬を致す。

宣曲の任氏の先は、督道の倉吏たり。秦の敗るゝや、豪傑皆争うて金玉を取る。而して任氏は獨り倉粟を窖アテに入レテ蓄藏す。楚漢の滎陽に相距ぐや、民、耕種を得ず、米石、萬萬鎰鎰に至る。極メテ而して豪傑の金玉盡く任氏に歸す。任氏此を以て富を起す。富人奢侈を争ふ。而して任氏は、節を折つて儉を爲し、田畜を力む。田畜は人争うて賤買價ヤスを取り、任氏は獨り貴善價高クシを取る。富むもの數世。然して任公の家、約キモノあり、田畜のヨリテ出ス所ノ金ニに非ざれば衣食せず、公事畢らざれば、則ち身、酒を飲み肉を食ふを得ずと。此を以て閭里の率スベとなる。故に富んで主上之を重んず。塞邊の斥トくるや、唯ヒトり橋姚のみ馬千匹を致し、牛之に倍し、羊萬頭、粟萬鍾を以て計る。吳楚七

國の兵起る時、長安中の列侯封君行いて軍旅に従ひ、子錢利子附ノ金を齎ゼイトク貨カカリルす。子錢の家以爲へらく、侯の邑國は關東に在り。關中の成敗未だ決せずと。故故ニ之ヲアヘ之ヲ肯て與ふる莫し。唯だ無鹽氏、千金を出捐チンして貸カす。其息は之を什十倍にす。三月にして吳楚平らぐ。一歲の中、則ち無鹽氏の息什倍す。此を用つて富、關中に墾ヒし。關下の富商大買は大抵盡く諸田なり。田膏、田蘭、韋家栗氏、安陵杜縣ニ杜氏も亦巨萬。此れ其章章として尤も異なる者也。皆爵邑奉祿あるに非ず、法を弄し姦を犯して富む。盡く椎埋去就、時と俯仰し、其贏利を獲て、末を以て財を致し、本を用つて之れを守り、武を以て一切し、文を用つて之を持す。時ニ臨ンデ變化すること概概ハ節節也あり。故に術とするに足る。若し農畜工虞商買を力め、權利を爲し以て富を成すに至つては、大にしては郡を傾け、中にしては縣を傾け、下にしては郷里を傾くる者、勝げて數ふ可からず。夫れ織織膏膏筋筋力力は生生を治治むるの正正道道なり。而れども富者は必必ず奇奇を用つて勝つ。田農は拙業なり、而れども秦陽は以て一州を蓋ふ。冢を掘るは姦事なり、而れども曲叔は以

て起る。博戲は惡業なり。而れども桓發は之を用つて富む。行買は大夫の賤行なり、而れども雍樂成は以て饒かなり。脂を販ぐは辱づる處也、而れども雍伯は千金。賣漿は小業也、而れども張氏は千萬。洒削サイ刀は、薄技也、而れども邳シツ氏は鼎食す。胃肺胃羊は乾シテ之ヲ賣ル也。は簡微業のみ、濁氏は騎を連ぬ。馬醫は淺方なり、張里は以テ錢ヲ蓄ヘ大魔ヲ建テ家族多クレバ爲メニ鍾を撃つ。此れ皆誠壹の致す所なり。是に由つて之を觀れば、富富ハは經業經ハ無無ク、則ち貨ガネは常主無し。能者は輻湊し、不肖者は瓦解す。千金の家は、一都の君に比し、巨萬なる者は、乃ち王者と樂を同じうす。豈に所謂素封なる者か、非か。